

## “奈良県立医科大学およびMBTコンソーシアム”と “よい仕事おこしフェア実行委員会”が2/27 連携協定を締結 ～全国の信用金庫と連携し、医学の知識を基に社会貢献活動を展開予定～



・奈良県立医科大学（理事長・学長：細井裕司）、MBTコンソーシアム（理事長：細井裕司）及びよい仕事おこしフェア実行委員会（事務局：城南信用金庫（理事長：川本恭治））は、相互に協力し医学知識を基に地域の活性化と産業の振興を図るため、包括的な連携・協力体制の構築を図ることに合意し、2月27日（月）、東京で協定締結式を行いました（左写真）。

←協定締結式で、右から城南信用金庫：川本恭治理事長、奈良医大：細井裕司理事長、奈良中央信用金庫：高田知彦理事長

・よい仕事おこしフェア実行委員会とは、全国36の信用金庫で構成されており、「地域のため、お客様のため」「日本を明るく元気にするため」に全国規模のネットワークを構築して、

\* 地域の枠を超えたビジネスマッチングや事業支援を図る

「よい仕事おこしネットワーク（<https://www.yoishigotonet.com/>）」

\* 地方創生イベント

「よい仕事おこしフェア（<https://www.jsbank.co.jp/business/service/saleschannels/opportunity/>）」などの開催で社会貢献に取り組まれている組織です。

・医学の知識を基に社会貢献活動を行っている奈良医大やMBTコンソーシアムと、今後、全国規模で連携の輪が拡大し種々社会貢献活動が期待できます。



## 2/21,22イノベーションストリームKANSAIに参加 2件のMBT研究開発活動成果を展示



・関西の大学、研究機関による最先端の技術やサービス、大学発スタートアップ起業などの研究成果を展示、体験する表題の展示会がグランフロント大阪北館の地下2階コングレコンベンションセンターで開催され、奈良医大とMBTコンソーシアムは連携して活動成果のブース展示を行いました。

・展示した「MEP用弾性ストッキング」「手指機能強化手袋」は、会員企業の特殊編み物技術で開発、奈良医大の医療研究者が医学的評価を行い有効性を確認したもので、MBTロゴマークの承認も得て商品化に至りました。

・産学連携による研究開発を希望してブースを訪れた企業から成果に至ったプロセスの熱心な質問等もあり、実りある展示会出展となりました。